

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	エクスプローラー	Lv.1:		レベル	14
サポートクラス	ドルイド	Lv.1:	ダンサー	性別	男
称号クラス				年齢	15
種族	エクスマキナ			境遇	渡来
出自 (効果)	犯罪者			目標	探索

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	15	10	30	10	27	20	7
ボーナス	5	3	10	3	9	6	2
クラス修正	0	2	2	1	3	0	0
他修正							1
能力値	5	5	12	4	12	6	3

HP	126
MP	118
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	風折りの刃	至近	-1	10	0	0	0	0	0
左手	スタンウィップ	至近	-2	14					
頭部	蝶の帽子				1	1			
胴部	歪みの衣				1	6			
補助	ヤルングレイブ				2	3	2		
装身具	アクセルブースター							3	
能力値			5	0	12	0	6	24	10
スキル	漆黒の星、リムブースト：リフレクス		13	28				2	2
その他	蝶の帽子、漆黒の星、リムブースト：リフレクス		1		2			3	
総計(右)			18	38					
総計(左)			17	42	18	10	8	32	12
総計(両)									m
ダイス数			3 d	7 d	4 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	12	4		16	+ 3 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	12	4		16	+ 3 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	6			6	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
異次元バッグ	キャップライト
ベルトポーチ	
	ヒルデグリム
小道具入れ	
※漆黒の星	ポーションホルダー
※霧の枝	※HPポーション*1
※金鳳花の花冠	MPポーション*10→9→7
※リムブースト：リフレクス	※万能薬*1
※望遠鏡	※毒消し*1
	※ハイHPポーション*1→0
野営道具	ハイMPポーション*4→3

現在重量：	32	所持金：	896	預金・借金：	3000
最大重量：	42				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ランパート	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果： キャラクター作成時に追加で《カバーリング》を取得する								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果： 武器攻撃を行う。対象が2体以上でダメージ+【SL*2】								
アームズマスタリー：短剣	1		パッシブ		自身			
効果： 命中判定+1D								
アンビデクスタリティ	1		パッシブ		自身			
効果： 両手の短剣・鞭の性能を合成								
バタフライダンス	1		パッシブ		自身			
効果： 回避判定+1D								
スペシャライズ：短剣	1		パッシブ		自身			
効果： 短剣の命中+SL、ダメージ+SL								
ドッジムーブ	1	2	(回避)		自身	リアクション		
効果： 回避の達成値+SL+2								
インタラプト	1		効果参照	視界	単体	自動成功	1/シナリオ	
効果： スキルの効果を打ち消す								
	1							
効果：								
アクセラレーション	1		パッシブ		自身			
効果： 【行動値】【移動力】+2								
カバーリング	1	2	DR直前	至近	単体	自動成功	1/MP	
効果： 対象にカバーを行い行動済にならない								
アップデート：敏捷	1		パッシブ		自身			
効果： 【敏捷基本値】+3								
	1							
効果：								
アキュートアーツ	1		パッシブ		自身			
効果： 命中を【感知】判定に変更								
ドルイドマスター	3		パッシブ		自身			
効果： 【感知】判定+SL+1								

【CL1】ランパート、ワイドアタック、バタフライダンス、インタラプト、ダンシングヒーロー、エンカレッジ

アルディオン生まれのエクスマキナ。覚醒後15年が経っているが、初めから一般教養はインプットされており、メンタリティは成人レベル。外見も製造後大きく変化していないが、経験の中で細かい調整が行われ、製造時より小型軽量化されている。護衛用として、対魔族戦闘も考慮して作られたらしい。(ドルイド)外見は、上半身には機械が露出しているが、顔はエクスマキナの特徴は出ていない。そのため、服を切れば人間と変わらなくなる。

製造目的に反して、メルトランド(エクスマキナを機械の一種と見なす国)の闇商人の手に渡り、消耗品同然の扱いを受ける。しかし、同じ境遇のエクスマキナが次々と機能停止していく中、幸か不幸か自己整備機能を有していたため、破損してもある程度は自力で修復が可能だった。その結果、“勝手に直る便利な道具”として扱われることとなる。やがて、長期間活動可能という理由でエリンディル向けの密輸船の護衛として配置されるが、船は沈み、奇蹟的にエリンディルに流れ着く。

しかし、エリンディルに渡っても過酷な環境は変わらなかった。漂着時は大部分を破損しており、どうにか機能停止を免れている状態だった。そこをヴァンスター帝国の情報部第13班が回収。末端の裏組織を通じて、珍しい機体の戦闘という見世物の扱いで、パリス同盟内の地下闘技場に送り込まれる。そこでは、貧相な装備で猛獣や魔獣と向き合わなければならない戦場だった。地道に自分の体の整備を続けながら、生き残りを賭けた戦いを続ける毎日。幸い、勝利すれば一定の報酬が得られる。それを整備費用に回し、少しずつ機能を取り戻していった。いつか、ここを抜け出し、一人で生きていく力を蓄えるために。

普段は第13班からの接触はないが、パリス同盟内での活動の際に、諜報や暗殺などを多額の報酬で依頼してくることがある。

